59 01 06 01 01 001

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和04年01月13日（木）

事務事業	遊休農地対策事業	担当課	農業委員会事務局	担当係	農地係	管理番号	5903
第2次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政計画分野別施策名 大項目	200003 活力とにぎわいにあふれるまち（産業振興）	根拠法令個別計画等	農地法 農業経営基盤強化促進法				
中項目	200001 農業のブランドを高め、伝えるまちづくり						
小項目	200001 農地の保全・活用と安定した農業経営の支援						

事業概要	遊休農地解消に向けて農業委員・農地利用最適化推進委員を中心に耕作放棄地の実態調査を行い、遊休農地所有者に対して意向調査を実施する。 農業を始めたい方、企業または担い手農家に農地の集積・集約化を行い、農地の活用を進めるとともに、遊休農地の解消を図る。
目的 ※何のために	遊休農地の解消を目指しながら、農地の有効利用を図る。
対象 ※誰・何を対象に	遊休農地、遊休農地所有者及び農地を活用したい農業者
手段 ※どのように	農業委員及び農地利用最適化推進委員による農地集積・集約化の推進
成果 ※何を求めるか	遊休農地の解消を目指す。
執行体制	■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ NPO 民間団体　■ その他（ 農業委員 ）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	06	農林水産業費	01	農業費	01	農業委員会費	遊休農地対策事業	945,666
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0

本事業の主な業務

・ 市内農地の全体調査を実施し遊休農等の洗い出しを行う	・
・ 所有者に意向調査	・
・ 遊休農地の斡旋	・
・ ホームページの運用	・
・	・
・	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画							
事業費	予算（現額）	1,240,000	1,129,000	1,147,000	1,240,000	1,183,000	1,541,000
	決算額	1,234,738	1,099,761	1,077,818	945,666	0	0
財源内訳	国支出金	1,240,000	756,000	804,000	753,000	780,000	588,000
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	他特定財源	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	343,761	273,818	192,666	403,000	953,000
人件費	従事職員数（人）	1.55	1.70	1.75	1.85	1.50	1.50
	人件費相当試算 ※1	12,057,450	13,229,400	14,183,750	15,051,600	12,204,000	12,204,000
		0	0	0	0	0	0
（総事業費試算）		13,297,450	14,329,161	15,261,568	15,997,266	13,387,000	13,745,000

※1　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

3．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
■	活動指標１	遊休農地面積	目標値	ヘクタール							■
			実績値		180.76	186.53	172.31	173.54	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		実績、結果値であり、目標値の設定は困難							
		実績値（現地調査結果）									
□	活動指標２	アンケート意向調査実施者数	目標値	人							■
			実績値		73.00	140.00	158.00	437.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		実績、結果値であり、目標値の設定は困難							
		実績値（現地調査結果）									
■	活動指標３	農業委員・農地利用最適化推進委員の集積・集約化の活動日数	目標値	ヘクタール	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	58.00	81.00	72.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		実績、結果値であり、目標の設定は困難（令和元年からの指標）							
		実績値（活動実績）									
■	成果指標１	遊休農地解消面積	目標値	ヘクタール	0.00	42.00	42.00	29.60	29.60	29.60	□
			実績値		29.37	42.69	13.15	51.29	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		過去５年間の平均値							
		実績値（掲載面積）									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

4．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	-	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 遊休農地面積については、昨年度より若干増加した。アンケート意向調査実施者数は、昨年度の実績値を大幅に上回った。農業委員・農地利用最適化推進委員の活動日数は、新型コロナの影響により活動しにくくなり、昨年の活動実績を下回った。
成果 （意図した成果が上がっているか）	A	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 新型コロナ補助金（高収益作物次期作支援交付金）により利用権設定による農地の貸借が増加したことが、遊休農地面積の解消につながったと思われる。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	局長補佐兼農地係長　大浜　和雄

5．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	
達成状況 及び その効果	遊休農地面積は若干増加した。意向調査のアンケート件数は大幅に増加した。集積・集約化の活動回数は、新型コロナの影響もあり減少した。遊休農地解消面積は増加したものの、新たな遊休農地の発生により、遊休農地面積は増加傾向にある。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	遊休農地対策事業	担当課	農業委員会事務局	担当係	農地係	管理番号	5903

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 → □ 委託化等の検討 / □ 成果向上のための改善 / □ 効率化のための改善 / □ 事業規模の縮小 / □ 他の事務事業と統合
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

評価の内容説明

農業委員及び農地利用最適化推進委員による農地の利用集積・集約化を推進することにより、遊休農地解消の促進を図る。

評価者	事務局次長　大木　保

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

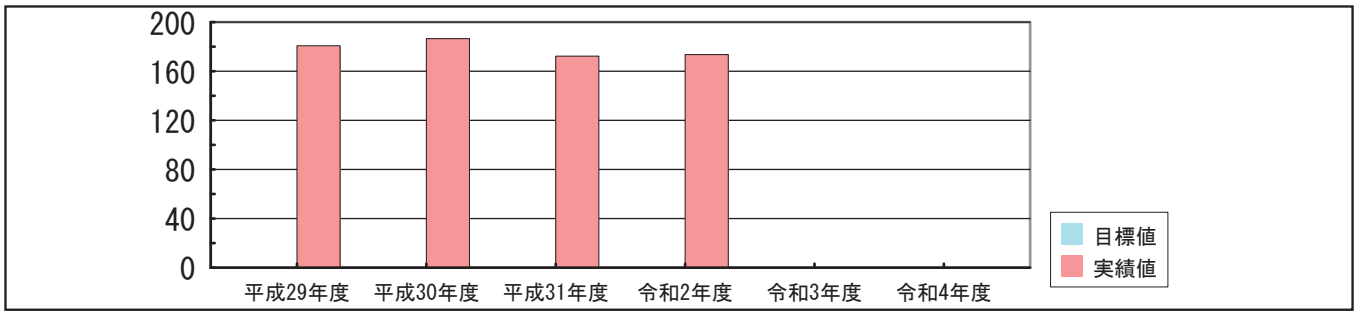
改善・改革案	農業委員及び農地利用最適化推進委員との、利用状況調査による遊休農地情報の共有を図り、地元の経営拡大意向者への利用集積・集約化を促進していく。

８．今後の課題（年度別計画等により実施する取り組み等）

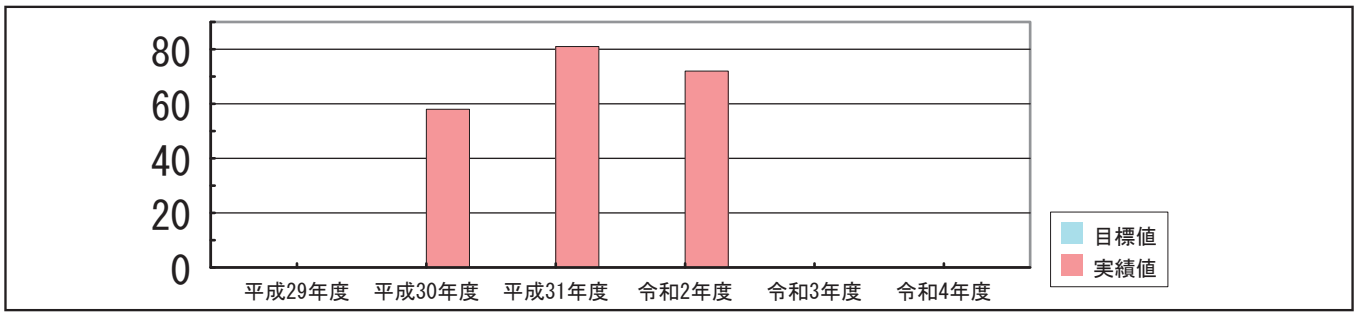
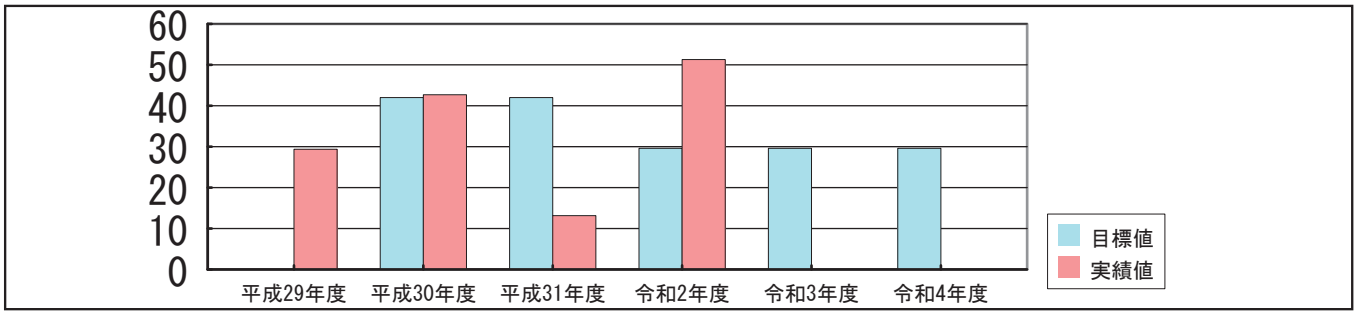
今後の課題	農業委員及び農地利用最適化推進委員と遊休農地の情報を共有し、更なる農地の利用集積・集約化を図るとともに、遊休農地解消の取組を図る必要がある。

９．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	遊休農地面積



区分	活動指標３	指標名	農業委員・農地利用最適化推進委集積・集約化の活動日数



区分	成果指標１	指標名	遊休農地解消面積